

所属・氏名 (薬 学部 薬 学科 氏名 : 清家 総史)

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Delta-toxin from <i>Clostridium perfringens</i> perturbs intestinal epithelial barrier function in Caco-2 cell monolayers. 《筆頭論文》	共著	2018年2月	<i>Biochim. Biophys. Acta</i> 1860:428-433.	ウエルシュ菌が産生する δ 毒素は Caco-2 細胞の上皮バリアーを破壊することを明らかにした。 (清家総史, 竹原正也, 高岸照久, 宮本和明, 小林敬子, 永浜政博) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
2 (学術論文) Involvement of the Arg566 residue of <i>Aeromonas sobria</i> serine protease in substrate specificity.	共著	2017年10月	<i>PLoS One</i> 10, e0186392.	アエロモナスソブリアが産生するセリンプロテアーゼ(ASP)の基質特異性に566残基目のアルギニンが関与していることを明らかにした。 (小林秀丈, 大坪忠宗, 寺岡文照, 池田潔, 清家総史, 高橋栄造, 岡本敬の介, 吉田徹, 津下英明, 山中浩泰) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
3 (学術論文) Cellular Entry of <i>Clostridium perfringens</i> Iota-Toxin and <i>Clostridium botulinum</i> C2 Toxin.	共著	2017年8月	<i>Toxins</i> 9. E247.	<i>Clostridium perfringens</i> が産生する ι 毒素と <i>Clostridium botulinum</i> が産生するC2毒素は、二成分毒素と呼ばれる毒素である。本論文では、クロストリジウム属の二成分毒素の細胞内移行についてまとめたレビューである。 (高岸照久, 竹原正也, 清家総史, 宮本和明, 小林敬子, 永浜政博) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
4 (学術論文) <i>Clostridium perfringens</i> α -toxin impairs erythropoiesis by inhibition of erythroid differentiation.	共著	2017年7月	<i>Sci. Rep.</i> 7. 5217	ウエルシュ菌が産生する α 毒素は、赤芽球の分化を阻害し、赤血球生成を障害していることが明らかとなった。 (高岸照久, 竹原正也, 清家総史, 宮本和明, 小林敬子, 永浜政博) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
5 (学術論文) Peptidoglycan accelerates granulopoiesis through a TLR2- and MyD88-dependent pathway.	共著	2017年5月	<i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 487(2):419-425.	グラム陽性菌細胞壁の構成因子であるペプチドグリカンが TLR2, MyD88 経路を介して顆粒球形成を促進することを明らかにした。 (竹原正也, 清家総史, 高岸照久, 小林敬子, 永浜政博) 共同研究につき本人担当分抽出不可能